

令和3年度 東京家政学院大学卒業式祝辞
ご卒業に寄せて

一般財団法人東京家政学院光塩会
会長 富永芳枝

ご卒業おめでとうございます。
心からお喜びを申し上げます。

皆様、4年間の学生生活は如何でしたか。
振り返ると後半2年間は未曾有のコロナ禍で過ごされた非日常の学生生活だったと思います。これまで当たり前にご過ごしてきた日々は何とも有り難いことであったことに気付かされたコロナ下での現在です。我が国だけの問題ではなく、これからも次々に現れてきそうなウイルス株です。一人一人がこれまでの感染防止策の基本を励行し現状を踏まえた上で今後の生活に活かす事が私たちの急務です。

皆様が学業を終え4月からの新しい門出はご自身が描いた道ですか？将来の夢や目標を上げて一つを選ぶことはなかなか難しいと思います。先ずはやってみて下さい。失敗を恐れてやらずにいるより、やってみて上手くいかずに後悔をしても、それは無駄にはなりません。大学で学んだ知識を実地で活用し試行錯誤して得た沢山の苦労こそ必ず後々に生きる力となるものだからです。どうぞこれからも実践を旨として頑張ってください。

私共光塩会は毎年、大学と学友会が開催する秋11月の町田キャンパスでのKVA祭、6月の千代田三番町キャンパスで開催のローズ祭、光塩会奨学金授与式、入学式、卒業式等の活動を通じて皆様とお目にかかれる機会がありました。しかしこの2年間はコロナ禍の影響でそれらの機会が少なく残念なことでした。ご卒業後も時間を見つけて母校にお立寄りください。色々お花曾我できれば嬉しいです。光塩会は卒業生、在校生の皆様にも少しもお役に立てることを計画し実行へ向けて活動いたしております。

明日から社会へ一歩踏み出す節目の今日、皆様に慈しみ育ててこられたご両親に感謝の気持ちをお伝え下さいませ。創立者大江スミ先生命名、同窓会名称「光塩会」の由来である”汝は地の塩となり、世の光となれ”の精神を胸に社会に役立てるようにご活躍を心から願っております。

ロシアの激しいウクライナ侵攻を連日のニュースで見聞きする度、この先どうなることかと思うばかりで心が痛みます。